

- 問1 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。

2. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。

3. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。

4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。
- 問2 日本の諸地域のうち、年平均気温が23度を超え、最も寒い1月でも平均気温が15度を下回らない温暖な気候が特徴である、沖縄県の県庁所在地を次の中から選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 那覇市

2. 石垣市

3. 名護市

4. 沖縄市
- 問3 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（ ① ）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（ ② ）が流れている。これらはどちらも（ ③ ）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流

2. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流

3. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流

4. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流
- 問4 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. リマン海流

2. 対馬海流

3. 黒潮

4. 親潮
- 問5 鹿児島県の農業産出額の構成を他の都道府県と比較したとき、米や野菜の割合が小さく、ある部門が全体の半分以上という極めて高い割合を占めているという特徴があります。この背景と、その部門に該当する内容の組み合わせとして最も適切なものはどれか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. 広大な平野と冷涼な気候を活かし、大規模な機械化による小麦やてんさいの栽培が盛んになった。

2. 冬でも温暖な気候を活かして、ビニールハウスを用いたピーマンやなすの促成栽培が盛んになった。

3. 夏の降水量が少ない気候を利用し、オリーブやレモンなどの果樹栽培が盛んになった。

4. シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。
- 問6 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 風力発電

2. 水力発電

3. 地熱発電

4. 太陽光発電
- 問7 九州地方南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大火山による噴火で発生した火砕流などの堆積物が積み重なって形成された台地を何といいいますか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 扇状地

2. カルデラ

3. シラス台地

4. 三角州
- 問8 地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいいますか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 扇状地

2. カルデラ

3. 盆地

4. 火口
- 問9 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 大分県

2. 福岡県

3. 宮崎県

4. 鹿児島県
- 問10 熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。

2. 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。

3. 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。

4. 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。
- 問11 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。

2. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。

3. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。

4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問12 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。

2. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。

3. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。

4. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。
- 問13 九州地方の南端に位置する鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

1. シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。

2. 九州新幹線の全線開通により、宮崎市との間の移動時間が大幅に短縮された。

3. 県全体がなだらかな平野で構成されており、日本有数の米どころとなっている。

4. 有明海に面した干拓地を利用して、大規模な海苔の養殖が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問2	答え 1 那覇市	沖縄県は日本で唯一の亜熱帯の気候帯に属しており、その県庁所在地である那覇市は、年間を通じて気温が非常に高いことが特徴です。統計によると、年平均気温は23.3度、1月の平均気温も17.0度と非常に温暖で、雪が降ることはほとんどありません。
問3	答え 3 ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流	低緯度（南の方）から流れてくる黒潮（日本海流）は、暖められた海水を運ぶ暖流です。この黒潮から枝分かれして日本海側へ流れ込む対馬海流も同じく暖流であり、これら2つの海流が九州を取り囲むように流れることで、冬でも沿岸部の気温が下がりにくくなります。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、九州の気候への直接的な影響は黒潮や対馬海流に比べると小さくなります。
問4	答え 3 黒潮	低緯度の暖かい海域から日本列島の太平洋側に沿って北上する暖流は、黒潮と呼ばれます。その色は深く澄んだ青色をしているため、黒っぽく見えることからこの名がつけました。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、対馬海流は九州の西側を通して日本海側へと流れる暖流です。
問5	答え 4 シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。	鹿児島県には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広く分布しています。シラス台地は水持ちが悪く稲作には不向きであったため、古くから畑作や畜産業が行われてきました。現在でもその傾向は強く、農業産出額において肉用牛、豚、鶏などの畜産部門が占める割合は、全国平均を大きく上回り全体の過半数に達しています。
問6	答え 3 地熱発電	日本は世界有数の火山国であり、地下のマグマの熱を利用して蒸気を取り出し、タービンを回して発電する仕組みが各地で導入されています。これは再生可能エネルギーの一つであり、天候に左右されにくい安定したエネルギー源として、環境負荷の低減にも貢献しています。
問7	答え 3 シラス台地	九州地方南部には、数万年前の巨大噴火による火山噴出物が数百メートルもの厚さで堆積した地形が見られます。この白っぽい砂状の堆積物は「シラス」と呼ばれ、それが広大な台地を形成しています。鹿屋市周辺など、大隅半島から薩摩半島にかけての広い範囲で見られる特徴的な地貌です。
問8	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが大量に放出されると、地下に空洞ができます。その上の部分が自重で崩れ落ちることで、数キロメートル以上にわたる広大なくぼ地が形成されます。鹿児島県の桜島北方（始良カルデラ）や、熊本県の阿蘇山などが代表的な例です。一般的な火口よりも規模が格段に大きいのが特徴です。
問9	答え 3 宮崎県	宮崎県は、隣接する鹿児島県とともに日本有数の畜産地帯を形成しています。特に肉用牛の飼育が盛んであり、広大な土地と暖かい気候という条件が、大規模な畜産業の発展を支える背景となっています。
問10	答え 2 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。	熊本県の農業は、特定の品目に依存せず、米、野菜、畜産、果実、花きなどが幅広く生産されているのが大きな特徴です。2016年の統計データによれば、野菜の産出額が約1,247億円、畜産が約1,147億円となっており、これら2つの分野が県全体の農業経済を支える大きな柱となっています。
問11	答え 3 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問12	答え 4 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問13	答え 1 シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。	鹿児島県は九州南部に位置し、火山灰が降り積もってきたシラス台地が広く分布しています。この土地条件を活かして豚やブロイラー（鶏）などの畜産業が非常に盛んで、特に「かごしま黒豚」などは全国的に有名なブランドとなっています。また、九州新幹線の全線開通は博多（福岡県）や新大阪方面との移動時間を大幅に短縮しましたが、宮崎市は新幹線のルートには含まれていません。